

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成26年12月11日 (2014.12.11)

【公開番号】特開2012-114084(P2012-114084A)

【公開日】平成24年6月14日 (2012.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2012-023

【出願番号】特願2011-241971(P2011-241971)

【国際特許分類】

F 2 1 V 19/00 (2006.01)

F 2 1 V 23/06 (2006.01)

H 0 5 B 33/02 (2006.01)

H 0 5 B 33/04 (2006.01)

H 0 5 B 33/06 (2006.01)

H 0 5 B 33/28 (2006.01)

H 0 5 B 33/08 (2006.01)

H 0 5 B 33/14 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 1 R 13/639 (2006.01)

F 2 1 V 23/00 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2006.01)

F 2 1 Y 105/00 (2006.01)

【 F I 】

F 2 1 V 19/00 5 1 0

F 2 1 V 23/06

H 0 5 B 33/02

H 0 5 B 33/04

H 0 5 B 33/06

H 0 5 B 33/28

H 0 5 B 33/08

H 0 5 B 33/14 Z

H 0 5 B 33/14 A

H 0 1 R 13/639 A

F 2 1 V 23/00 1 6 0

F 2 1 S 2/00 2 5 0

F 2 1 Y 105:00 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月23日 (2014.10.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発光体と、装着部と、を有し、

前記発光体は、光学部材と、封止部材と、第 1 の端子と、第 2 の端子と、磁性部材と、
発光素子と、を有し、

前記装着部は、磁石と、第 1 の接点と、第 2 の接点と、を有し、

前記発光素子は、前記光学部材と前記封止部材との間に設けられ、
前記発光素子は、第１の電極と、前記第１の電極に重畳する第２の電極と、前記第１の電極と前記第２の電極との間に設けられた発光物質を含む層と、を有し、
前記第１の電極又は前記第２の電極は前記発光物質を含む層が発する光を透過し、
前記第１の電極は、前記第１の端子と電氣的に接続され、
前記第２の電極は、前記第２の端子と電氣的に接続され、
前記磁石は前記磁性部材を引き寄せ、前記第１の端子は前記第１の接点に接し、前記第２の端子は前記第２の接点に接して、前記発光体が前記装着部に脱着可能に固定される照明装置。

【請求項２】

請求項１において、

前記第１の接点又は前記第２の接点の高さが可変である照明装置。

【請求項３】

請求項１または２において、

前記装着部は、

前記磁性部材に向かって前記磁石が摺動する摺動機構と、

前記磁性部材から前記磁石を遠ざける弾性体と、

前記第１の接点と前記第２の接点に電力を供給する開閉器と、を有し、

前記開閉器は前記摺動機構と連結され、

前記磁性部材の接近に伴い、前記磁石は、前記弾性体の応力に反して前記磁性部材に向かって摺動し、

前記開閉器はオン状態となり、前記第１の接点と前記第２の接点とを介して前記発光体に電力を供給する照明装置。

【請求項４】

請求項１乃至３のいずれか一において、

前記封止部材が前記磁性部材を兼ねる照明装置。